

新訂第四版発行にあたって

東灘区は、昭和二十五年（一九五〇）武庫郡御影町、住吉村、魚崎町、本山村、本庄村の旧五か町村が神戸市と合併し誕生しました。

いにしえには、六甲山から流れ出る河川を利用して水車を動かし酒造業やそうめん業が栄え、荒神山からは御影石が切り出され、海辺の村々では漁業が盛んに行われていました。

その後近代化を経て、六甲山麓に緑豊かな住宅地が広がり、多くの美術館や大学などが立地しています。中間部には住宅と商業が適度に調和しており、南部には日本酒の生産地として名高い地域で住宅と産業が混在しています。また、海岸部埋立地である東部第二工区、第三工区、第四工区には食品製造業、運輸業、卸売市場などの産業地帯が形成されており、沖合には、港湾施設、産業施設、住宅、商業施設などが計画的に配置された新しい海上文化都市、六甲アイランドが機能しています。

平成七年（一九九五）一月十七日、兵庫県南部はマグニチュード七・三の大地震に襲われました。東灘区は震度七（激震）が記録され、家屋の約半数が全半壊となり、千五百名近くの方が亡くなるなど、最も被害の大きい地域の一つで、古い酒蔵など由緒ある街並みの多くも破壊されてしまいました。

その後復興が進み、現在では東灘区らしいまちなみを取り戻してきています。東灘区では、今後もすてきがあふれ、交流の風が吹く「ふるさと都市・東灘」を目指して、まちづくりを進めていきます。

この本は、昭和五十年（一九七五）に発行しました「東灘の史跡と木かげ」（絶版）の姉妹版として昭和五十五年（一九八〇）に区制三十周年を記念し発行された「東灘歴史散歩」を新しい装訂に改め、新訂第四版として発行したものです。ふる里の歴史を知ろうとする大勢の皆様や、郷土を学ぶ児童たちの副読本として広く活用されていることは大きな喜びです。

自然や文化財を後世に引き継ぎ、歴史や文化を守っていくことは私たちの責務です。区民の皆さまが東灘の歴史を今一度ふり返って、それを学び、手軽に訪ね親しんでいただければ、日ごろ見慣れた風景も、また一段と愛着をもったかけがえのないものになるでしょう。そのようなときに、本書がガイドブックとしてお役にたてば幸いです。

最後になりましたが、この冊子を発行するに当たって執筆、改訂していただいた田辺真人先生をはじめ、ご協力いただいた方々に心から感謝申しあげる次第です。

令和三年四月

東灘区役所

初版 まえがき

八十年代の神戸のシンボルともいえるポートピア81の準備も進み、私たちの神戸は日々たくましく発展しています。その一方、近代的な神戸の町かどには史跡や文化財も数多く残っており、それらに対する市民の関心もきわめて大きなものがあります。

六甲の山腹に渦が森や鴨子が原の住宅地が建設され、海岸には広大な埋め立て地が築かれ、東灘区も大きく前進しようとしています。このような進歩の時こそ、将来への正しい展望をえるためにも、これまでの歴史をふり返る必要があります。

東灘区では、さる昭和五十年に区の発足二十五周年を記念して『東灘の史跡と木かげ』を発行しましたが、これはふるさと神戸を愛し知ろうという市民の方々の強い共感をいただいて、今日までに三刷で計一万二千五百部を出し、すでに払底するに至っています。増刷を求める声も強く、このたび区の発足三十周年記念に本書を發行することになったのです。この五年間に町名も変わり開発も進み、新しい調査も大分行われました。そこでかなり加筆したうえ、前書では旧五六町村ごとに史跡を分類しましたが、その構成も大幅に改め、各史跡を年代順に配列しました。といっても地方史のことゆえ、全時代に均等に歴史のあとが残っているわけではありません。とくに伝説などは、そのまま史実と考えるわけにはいきませんが、とりあえず伝えられている説話の舞台となつて

いる時代のところに配列しました。この点をどうかご了承ください。

『東灘の史跡と木かげ』の執筆に際しては、明石高校の藤原繁教諭や郷土史家黒川恒雄氏はじめ多くの方々の
お世話になりました。本書でも、区の広報相談課はじめご協力いただいた皆様に心からお礼を申しあげます。
誤謬や不十分な点もあろうかと思いますが、読者諸賢のご教示ご叱言をお願いしますとともに、本書が私たち
の東灘を知ろうとする人々にいささかでもお役に立つことを祈って、序文にかえたいと思います。

昭和五十五年十一月

田 辺 眞 人

もくじ

新訂第四版発行にあたって	1
初版まえがき	3
歴史散歩	9
先史	9
銅鐸の出土(14)―ヘボソ塚古墳(15)―東求女塚古墳(16)― 処女塚古墳(17)―処女塚の伝説(19)―本山の群集墳(21)	9
古代	23
保久良神社(25)―保久良山の楊梅(27)―魚崎の地名(28)― 魚崎八幡宮神社(29)―東明(29)―東明八幡神社の武内の松 (30)―御影の地名(31)―沢の井(32)―弓弦羽神社(33)―六 甲山の地名(34)―渦ヶ森衝上断層(35)―郡家と室之内(36) ―本住吉神社(37)―長峡の松(38)―森の稲荷神社(39)―踊り 松(40)―御影の松(42)―綱敷天満神社(43)―菅公船繋の 松(44)	23
中世	45
雀の松原(47)―雀の松原の戦い(48)―福原京ちかくの名所	45

近

世

〈源平盛衰記〉(48)―伝説の雀合戦(49)―小路と八幡宮神社
(50)―小山田高家の碑(51)―若宮八幡宮神社(52)―正寿寺
(52)―深田池公園(53)―平野城趾(54)―中勝寺(56)―山路
の城あと(56)

深江(59)―大日靈女神社(60)―文祿三年の石仏(61)―岡本
の梅林(62)―素盞鳴神社(63)―山の神の祠(64)―大日女尊
神社(64)―西光寺(65)―阿弥陀寺(66)―永思堂跡(67)―御
影石と石切り場(68)―柿の木地藏(70)―首地藏(70)―丑供
養の碑(71)―水車小屋(72)―住吉町内の水路(73)―赤塚山
の霊場(74)―弓弦羽の滝(75)―徳本寺(75)―革命紀行(太
田蜀山人)(76)―中野の八幡神社の弓(76)―西国橋(78)
―一里塚(79)―魚屋道(80)―浜街道の碑(83)―二つの道標石
(83)―浜街道の街並(84)―灘の二ツ火(85)―八幡谷(86)―
灘の地名(86)―灘酒の歴史(86)―菊正宗酒造記念館(88)
―櫻正宗記念館(89)―白鶴酒造資料館(90)―甲南漬資料館
(91)―神戸酒心館(92)―浜福鶴吟醸工房(93)―魚崎の街
なみ(94)―鷺の森と鷺の宮(95)―鷺の森の櫻モニュメント(95)
―青木(96)―八坂神社(97)―土樋割と水争い(97)―清流の道
(98)―覚浄寺(100)―踊り松地藏(100)―旗振り山(101)―

稲荷筋(101) 一庚申塚(102) 一水神宮(103) 一常順寺(103) 一神
戸深江生活文化史料館(104)

近 代

村界の碑(107) 一御影標柱(108) 一石屋川鉄道トンネル(109)
一住吉ステーションの碑(110) 一有馬道(110) 一有馬道の道標石
(111) 一住吉駅より有馬道(幸田露伴)(112) 一西方寺(112) 一
二楽荘(113) 一住吉学園(114) 一ヘルマンハイツとシーメンス事件
(114) 一神戸大学海事博物館(116) 一久原邸跡(117) 一御影公
会堂(118) 一嘉納治五郎(118) 一平生夙三郎(120) 一平生記念館
(120) 一貴志康一(121) 一白鶴美術館(122) 一流石碑(124) 一洪水
水位の石碑(125) 一春日神社(126) 一阪神大水害「細雪」(127) 一
谷崎文学と東灘(129) 一倚松庵(131) 一朱鳥居と空襲(132) 一米
軍の空襲「火垂るの墓」(133)

現 代

神戸地方の地震から(140) 一御影町(142) 一住吉村(143) 一魚
崎町(144) 一本庄村(145) 一本山村(146) 一六甲ライナーに沿っ
て(147) 一香雪美術館(148) 一桜守公園(岡本南公園)(149) 一
コープこうべ生活文化センター(150) 一小磯記念美術館(150) 一
神戸ファッション美術館(151) 一世良美術館(152) 一神戸ゆかり
の美術館(152) 一住吉だんじり資料館(153)

参考資料	154
区内の国指定文化財(個人所蔵は除く)	154
東灘区だんじり一覽表	157
東灘区神輿一覽表	157
だんじり図面	158
東灘区内の主なお祭り	159
東灘区の博物館相当施設	160
参考文献	162
索引	163